

Training Program for the Next Generation of Leaders



青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。  
(青山学院教育方針)



## 第 6 回 A G U

# リーダーシップ・ カレッジ

FEB 4-6, 2026

湘南国際村センター

「すべての人と社会に仕えるサーバント・リーダー」  
育成のために

青山学院宗教センター

## 概要

次世代リーダーを育成する宿泊プログラム、リーダーシップ・カレッジの6期生を募集します。

真のリーダーシップとは何かを問い、青山学院の目指す「サーバント・リーダーシップ」について基本を踏まえ実践的に、しかも少人数で、2泊3日の合宿形式で集中的に学びます。リーダーシップ教育を長年実践してきた本学講師によるセッションやワークショップなど、3日間の充実したプログラムです。



湘南国際村センター

### 応募資格

次年度各学生団体の責任者となる学生  
(定員に達し次第募集終了)

### 参加費

7000円(2泊3日宿泊費・食事代込)

### プログラム

2月4日(水) ---湘南国際村センター集合 11:30  
開会礼拝、オリエンテーション、SESSION 1、2、ワークショップ1  
2月5日(木)  
SESSION 3、ワークショップ2、3  
2月6日(金) ---湘南国際村解散 13:00  
SESSION 4、全体会、閉会礼拝

### 応募方法

以下の必要事項を記入の上、宗教センター宛にメールで申し込んでください。  
2026年1月15日(木) 締切です。

氏名(ふりがな)、学部・学科、学年、学生番号、  
メールアドレス、電話番号、所属団体

宗教センター agcac@aoyamagakuin.jp

## 参加者の声

▼自分の思っていたリーダー像とサーバントリーダーのあるべき姿に違いがあり、人を引っ張るのではなく、一緒に成長することで得られることもあることを学びました。

▼色んな活動をしていく中で沢山の方とお話することができてすごく嬉しかったです。出会えた仲間たちに感謝です。

▼とても楽しかったしこれからの成長に直結しそうな貴重な時間になりました。

▼1番良かったことは横のつながりを持てたことです。みんな同じような立場に立たされているからこそ共有できる気持ちや不安が沢山あって、とても励まされました。

▼リーダーはただチームを引っ張っていく存在というだけではなくて、あやふやな部分をなくすために確認したり情報確認したり負担が偏らないようにお互いに支え合うなど、様々な方法でチームを作り上げていく必要があるということを知りました。

▼とても満足だった。セッションや食事において他の団体の人たちと混じり合えたことがとても良かった。一生忘れない経験になりました。

総合司会

大宮 謙

宗教部長、社会情報学部教授



リーダーシップについて一緒に学ぶ貴重な機会です。  
皆さんの参加をお待ちしています！

## SESSION 1

### 「サーバント・リーダーシップ」

藤原 淳賀

宗教主任 地球社会共生学部教授



このセッションでは、リーダーシップの役割が与えられている人を対象に、3つの内容を扱います。

第1に、リーダーとはどのような役割が求められているのか？リーダーは人々を導きます。(1)自分たちが今いる所を知り、(2)これから行くべき所を見据え、(3)どうやってそこへ辿り着くのかを考え実行します。

第2に、聖書から学ぶことができるリーダーシップ・スタイルは何か？サーバント・リーダーシップです。人はみな、愛し合うように、仕え合うように、意味のある人生を生きるようにと神によって造られています。それを最も満たすリーダーシップ・スタイルはサーバント・リーダーシップです。

第3に、リーダーに必要な技術は何か？たくさんあるが、ここでは神から与えられた賜物（GIFTS）を見出すことを扱います。自分の賜物を知り、人々の賜物を知り、それらを生かして共に歩むことを学ぶ必要があります。

## SESSION 2

### 「コミュニティ・ビルディング」

伊藤 悟

宗教主任 教育人間科学部教授、学院宗教部長



～コミュニティを建て上げる～

洞察力、統率力、判断力、傾聴力、発信力、想像力、責任感、信頼、配慮、先見性、注視力、説得力、ユーモア、自尊心、スピード感、問題処理能力、ITスキル、ETC.。これらは優れたリーダーが身につけているべき数々の能力やスキルとされます。しかし高い能力やスキルをもったリーダーが良いチームをつくり出していくではありません。チームとリーダーの呼吸が合い始めたときにチーム自らが成長し始めるのです。良いチームは、リーダー個人の能力やスキルに依存しません。そうして一つの「キリストの体（コミュニティ）」が建て上げられていくのです。

新しいリーダーとなったあなた、これからあなたが取り組んでいくのはコミュニティ・ビルディングです。「キリストの体」を建て上げ成長させていくのです。このセッションでは次のことを学んでいきます。

1. リーダーシップとコミュニティ・ビルディング
2. コミュニケーション・スキル
3. チームの成長とマインドセット

## SESSION 3

### 「リーダーシップ実践ワークショップ」

玉木 欽也

経営学部教授



内容

1. 経営学におけるリーダーシップ
2. イエス様から学ぶサーバント・リーダーシップ
3. 学生団体に向けたリーダーシップ素養
4. ワークショップ（時間の余裕に応じて）

## SESSION 4

### 「リーダーシップ実践論」



シュー士戸 ポール

宗教主任 文学部教授

誰も生まれながらにしてリーダーである人はいませんが、リーダーになるために誰でも学ぶことができます。リーダーシップは鍛えられるべき実践的、学ぶべきスキルです。

★リスクマネジメント：リスクを取らないと活動が面白くなります。しかし、リスクを効果的に管理することが重要です。これにはリスクを理解し、リスクを測定し、潜在的な利益と安全性や安定性のバランスをとることが含まれます。

★失敗と誠意：リーダーであるということは、常に成功していなければならないということではなく、成功のイメージを投影しなければならないということでもありません。失敗に対処することは、リーダーにとってもチームにとっても必要不可欠なリーダーシップスキルです。リーダーの脆弱性は他の人に共感できるための助けとなります。人々は誠実なリーダーを信頼します。

★管理技術：

●アジェンダの作り方 ●会議のリードの仕方 ●時間を有効に使う方法 ●チームコミュニケーション ●透明性と機密性の実行

## WORKSHOP

### ワークショップ1

#### 「どんなリーダー？どんなチーム？」



島田 由紀

宗教主任 国際マネジメント研究科教授

架空また実際の事例を使ったグループワークを通じて、リーダーとしての決断の予行演習をしてみましょう。ほかの学生と意見を交わしてみると、同じ状況においても決断が分かれること、判断の根拠となる視点にはいくつかの軸があることに気づくと思います。リーダーの決断と姿勢は、チームの方向性と雰囲気大きな影響を与えます。あなたはこれからの一年間で、どんなチームを作りたいですか。一緒に考えてみましょう。

### ワークショップ2

#### 「みんなでつくろう！これからの賛美歌」



山本 美紀

教育人間科学部教授

青山学院の属するキリスト教プロテスタントメソジスト派は、「歌うメソジスト」と呼ばれるほど賛美することを大切にしている伝統をもっています。メソジストの初代リーダー、ジョン・ウェスレーが時代の祈りを、うめきを、応答を、その時代の言葉と音楽にのせて歌ったからです。このワークショップでは、賛美歌について、特に「今求められている賛美歌」についてレクチャーの後、いくつかのグループに分かれて、賛美歌をつくります。

賛美歌は、神さまと自分との間で行き来するものであると同時に、歌に込めた思いや気づきを仲間と共有するものです。その体験を、グループでの賛美歌づくりを通して体験できたらと思います。

## その日の振り返りと晩祷

和寺 悠佳

宗教主任 理工学部准教授



一日の終わりに、その日にいただいた恵みを思い起こし、静まって神様に向かう晩祷が持たれます。共に御言葉に聴き、祈りをささげるときを過ごしましょう。